

家庭学習の手引き

家庭学習は、学校で学習したことをしっかりと定着させるために、また、自ら学ぶ習慣を身につけるためにとても大切です。

小学校のうちに机（自分が勉強する場所）に向かう習慣が 後々の家庭学習に大きな影響を与えます。今のうちに確実に身につけさせましょう。



1 家庭学習のさせ方

- ① 担任から出る「宿題」を最初にさせて下さい。
 - ・ 本読み、プリントやドリルでの計算練習、プリントやドリルでの漢字練習など
 - ・ 下敷きを敷いて、とがった鉛筆で、丁寧な字で書きましょう。
- ② 時間が余ったら、自主学習をしましょう。
- ③ どうしても勉強に飽きてしまうときは、読書やお絵かきでも何でも構いませんので、必ず机に向かわせてください。「机に向かう」という習慣が大事です。

自主学習の例

- ・ テストで間違えた問題をもう一度解いてみる。
- ・ 分からない言葉を辞書で調べる。
- ・ 計算ドリルで計算練習をする。
- ・ 漢字ドリルで漢字練習をする。
- ・ 好きな詩や文をノートに書く。
- ・ 本や新聞、教科書などを読む。
- ・ リコーダーや鍵盤ハーモニカの練習をする。

2 時間のめやす

- ・ 低学年 宿題＋15分～20分
- ・ 中学年 宿題＋30分～40分
- ・ 高学年 宿題＋50分～60分

3 家庭学習における保護者の役割

① 学習時間の確保

塾、習い事、スポーツなど、子どもたちもいろいろと忙しいと思いますが、短い時間でも、「必ず机に向かう」習慣を身につけさせましょう。「何時から何時まで勉強する」ということを、家庭でよく話し合っ、無理のないように時間設定をしてください。

② 学ぶための環境づくり

例えば、テレビをつけながら勉強しても、効果は上がりません。お子さんが落ち着いた学習環境で学習できるように、各家庭で工夫したり話し合ったりしてください。

③ 声かけ・見届け・励まし

子どもが学習したことにできるだけ目を通し、声をかける。褒めたり励ましたりしてやることで、お子さんはどんどんやる気を出します。1週間に1回は、コメントを書いてあげたり、スタンプを押してあげたりなどの見届けをお願いします。また、お子さんの様子を把握しながら、できるだけいっしょに取り組んでくださるようお願いいたします。

④ 学校との連携

お子さんの学習の様子は、どんな小さなことでも担任にお知らせください。

- ・ わからないこと、困っていること。
- ・ 家庭でがんばっていることなども、担任に教えてください。
- ・ ノーテレビ、ノーゲームデーを推進するようお願いいたします。

